

第 3 2 回通常総会

と き： 令 和 4 年 5 月 2 6 日

と ころ： アークホテルロイヤル天神

一般社団法人福岡県木材組合連合会

第 3 2 回 通 常 総 会 議 事

第 1 号 議 案 令和 3 年度事業報告・財産目録・貸借対照表・
及び収支決算書承認について

第 2 号 議 案 令和 4 年度事業計画及び収支予算案承認について

第 3 号 議 案 令和 4 年度会費及び徴収方法決定について

第 4 号 議 案 役員報酬について

第 5 号 議 案 役員補選について

第1号議案

令和3年度 事業報告

自 令和 3年4月 1日

至 令和 4年3月31日

我が国の経済は、令和3年度も引き続き、新型コロナウイルスの感染症の影響下にありましたが、全国の緊急事態宣言及び蔓延防止等重点措置は解除され、行動制限は段階的に緩和されてきたことから、持ち直しの動きが見られるようになりました。ただし、供給面での制約や原材料価格の動向による下振れリスクに十分注視することが必要な状況です。（令和3年12月23日閣議決定。「令和4年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度」）

木材関係では、米国の旺盛な住宅需要やコンテナ不足など様々な要因が重なって生じたいわゆる「ウッドショック」により、木材の値上がりがみられ、世界的な木材不足が深刻になりました。これにより、輸入材の不足で国産材の安定供給に注目が集まるようになりました。

また、令和3年6月に「公共建築物等木材利用促進法」が改正され、「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材利用促進に関する法律（改正木材利用促進法）」として制定され、公共建築物のみならず民間の建築物においても木造化・木質化が推進されることとなりました。

令和3年の新設住宅着工の実績としては、新型コロナウイルス感染症の拡大やウッドショックによる貿易の停滞がもたらした木材を含む各種資機材の不足、価格高騰などの影響下に有りながら、在宅

勤務の拡大等住宅の見直しなどの影響もあり、全体では対前年比約 1 割増の 8 9 万 4 千戸、そのうち木造住宅は 5 1 万 2 千戸で、木造率は 5 7 % と平成 2 1 年以降 5 0 % 台が続いています。

このような状況下、令和 3 年度においても、国においては、地域での木材産業、工務店、設計関係団体等、木材の供給側、需要側が連携して取組む木材利用拡大強化のための予算措置が講じられ、非住宅建築物への木材利用拡大に重要な要素となる JAS 構造材の利用促進や木塀など外構部の木質化促進のための事業が実施されました。

また、福岡県においては、福岡県産木材を使用した内装工事等を支援する「福岡県コロナ対応型木質リノベーション推進事業」が実施されております。

税制面では、令和元年度の税制改正で「森林環境税」、「森林環境譲与税」が創設され、市町村が実施する森林整備や木材利用推進等に必要な財源に充てられることになっています。こうした中、新たな森林管理システムにより、林業の成長産業化の実現と森林資源の適正な管理の両立が進められ、林業の特性を踏まえた新技術の活用等による変革が期待されています。

さて、令和 3 年度は、前年度から続くコロナ禍の中での厳しい事業環境、あるいは、「ウッドショック」により目まぐるしく動く情勢の中ではありましたが、積極的に木材の需要拡大に取り組むなど事業計画達成に向けた活動を実施することができた 1 年間でありました。

これも、ひとえに会員各位をはじめ、関係機関、関係団体の皆様の絶大なるご支援ご協力の賜物と深く感謝を申し上げます。

今後とも会員の皆様、さらには関係機関との連携を一層密にして、本県木材産業の振興・発展に努めて参る所存ですので、引き続き格別のご支援をお願い致します。

令和3年度の事業報告を以下のとおり行います。

(1) 消費者等に対する木材利用の普及推進

当連合会のホームページをリニューアルし、木材に関する多様な情報を発信し、多くのアクセスがあった。

木材に関する質疑応答集をホームページに掲載し、普及啓発に努めた。

(2) 「木づかい運動」への参画

国産材の利用拡大に向けて林野庁が全国的に展開する「木づかい運動」の一環として、毎年開催している「ウッドフェスタ2021福岡」は、コロナ禍でやむなく開催を中止した。

また、福岡県木材青壮年連合会が主催している「児童生徒木工工作コンクール」では、コロナ禍の中ではあったが、県内148校から1,319点の出品があり、当会も作品の審査などコンクールの開催に協力、支援を行った。

また、ホームページに掲載した木工工作の動画を活用して木育活動に取り組んだ。

(3) 木材の利用促進

これまで木材利用が低位であった非住宅分野を中心とする建築物において、JASの格付け実績の低い構造材(無垢材、CLT)を積極的に利用するため、林野庁の補助事業である「JAS構造材利用拡大事業」を活用しJAS材をはじめとする木材

の普及啓発事業及び利用実証事業を実施した。

その中で、福岡県木造・木質化建築賞を受賞したモデル的な建築物を設計者が紹介する「第10回ふくおか木材フォーラム」をはじめ、サプライチェーン協議会の取り組みなどを紹介した「JAS 構造材セミナー」、「木造（CLT）＋鉄骨造ハイブリッド建築物の技術発表会」等をオンラインにて開催した。さらには地元紙に JAS 材を使用した建築事例の紹介をまじえた新聞広告を掲載し、普及啓発を行った。

また、「福岡県コロナ対応型木質リノベーション推進事業」の受付等の業務を受託し、福岡県産木材の利用拡大に努めた。

（４） J A S 制度の普及推進と適正な運用

令和3年度時点で J A S 法に基づく認定工場（製材等 J A S）は、11工場となっている。

製材 J A S 工場の認定取得を促進するため、県内の製材工場等を対象に、製材 J A S 制度に関する説明会や P R に務めた。

また、制度の適正な運用を図るため、監査の実施や製品の格付け検査を行った。

（５） 合法木材の普及推進

合法性等が証明された木材等の利用促進を適正に行うため、関係事業者への「合法木材ハンドブック」の配布や、説明指導を行い、「合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律」（クリーンウッド法）に関して普及促進を行った。

（６） 労働安全衛生対策の推進

平成30年度からスタートした「第13次労働災害防止計画」では林業が重点業種に指定されたことを受け、福岡労働局、福岡森林管理署、福岡県等で構成する「特別活動連絡調整会議」及び「同会議事務局による伐木造材時における労働災害防止のための集団指導会」を開催するなど、林業・木材製造業に関する労働安全向上に向けた取組を行った。

また、県内各地の現地において、上記関係者で合同パトロールを行うとともに、福岡県が主催した伐倒技能選手権の実行委員会に参画し、安全指導の強化に努めた。

（7）教育・情報提供事業

木材利用の推進に係る国や県の取り組み状況等のほか、林業・木材産業改善資金制度、木材産業等高度化推進資金制度、違法伐採対策、合法木材の普及等について、各組合に随時情報提供を行った。

（8）要望活動等

林業・木材産業の活性化や、地域材の利用促進を図るため、県を始め関係機関に対し、要請活動を行った。

また、木材利用や木材産業に係る国の施策、木材関連予算の確保等について、九州木材組合連合会、全国木材組合連合会及び全国木材協同組合連合会と連携して要望を行った。

さらに、九州経済連合会林業部会にオブザーバーとして参加し、部会からの林野庁への要望書に対し、意見を提出した。

事 業 概 要

期 日	会議・行事等	出席者	場 所
令和3年			
4月 2日	第1回全木連事務局長会議	専 務	オンライン会議
14日	農林水産まつり実行委員会	専 務	県庁
22日	緑の雇用全国会議	職 員	オンライン会議
22日	J A S 格付け検査（マルジョウ）	専 務	うきは市
23日	主伐で元気にプロジェクト協議会	専 務	県森連
26日	県木連、県木協連監査	監事外	県木連事務所
27日	全木連、全木協連第1回理事会	会 長	書面開催
27日	日本加工技術協会九州支部総会	専 務	書面開催
27日	福岡県中小企業団体中央会第1回理事会	—	福岡市
27日	緑の雇用事業説明会	職 員	久留米市
5月 13日	全木連、全木協連等総会	会 長	書面開催
14日	木退協等総会	会 長	書面開催
17日	福岡県木材産業政治連盟委員会	会長外	書面開催
21日	全木連、全木協連第2回理事会	会 長	書面開催
6月 1日	第2回全木連事務局長会議	専 務	オンライン会議
9日	福岡県中小企業団体中央会総会	—	福岡市
14日	J A S 構造材個別実証事業現地確認	専 務	直方市
15日	（一社）県木連・県木協連理事会、合同組合長会議	会長外	チクモクビル
15日	九経連林業部会	職 員	オンライン参加
21日	J A S 格付け検査（マルジョウ）	職 員	うきは市
25日	（一社）県木連・県木協連総会	会長外	チクモクビル
26日	森づくり活動研修会	職 員	久留米市
7月 6日	全木連九州地区事務局長会議	専 務	オンライン会議
13日	人権啓発研修会	職 員	国際会議場
16日	農林水産まつり実行委員会	専 務	福岡県千代庁舎
16日	森づくり活動研修会	職 員	福岡県飯塚総合庁舎
8月 4日	J A S 構造材個別実証事業現地確認	専 務	福岡市
6日	第10回木材フォーラム	会長外	オンライン開催
17日	緑の雇用地方打合会議	専務外	チクモクビル
19日	福岡県産木材利用促進協議会	専 務	チクモクビル
23日	県市連総会	専 務	福岡市
26日	J A S 監査（マルジョウ）	職 員	うきは市
9月 15日	九経連林業部会	専 務	オンライン開催
16日	九州地区需給情報連絡協議会	専 務	オンライン開催
25日	県木青木工工作コンクール審査会	専 務	書面審査

期 日	会議・行事等	出席者	場 所
10月 1日	JAS監査（ニッパ）	専 務	飯塚市
5日	合同組合長会議	会長外	チクモクビル
11日	JAS監査（東部産業、堤木材）	専務外	うきは市
11日	JAS格付検査（堤木材）	専務外	うきは市
14日	全国木材産業振興大会	職 員	北海道
16日	大川木材事業協同組合70周年記念講演会	会長外	大川市
18日	JAS監査（九州木材工業）	職 員	筑後市
18日	伐倒技能選手権	専務外	筑前町
22日	人権研修	職 員	北九州市
25日	福岡県中小企業団体中央会金融税制委員会	会 長	福岡市
28日	福岡県産木材利用促進協議会	専 務	うきは市
28日	JAS格付検査（マルジョウ）	専 務	うきは市
11月 12日	JAS審査員研修会	職 員	オンライン開催
16日	福岡県産木材利用促進協議会ワークショップ	会長外	福岡市
18日	全木連臨時総会	専 務	東京都
22日	福岡県木造・木質化建築賞選定委員会	専 務	福岡市
22日	林業機械化協会講演会	専務外	福岡市
25日	九経連林業部会	専 務	オンライン
30日	森林審議会	会 長	福岡市
12月 2日	福岡県中小企業団体中央会理事会	会 長	福岡市
14日	JAS構造材セミナー	会長外	福岡市
15日	福岡県産木材利用促進協議会ワークショップ	会長外	福岡市
16日	福岡県木造・木質化建築賞選定委員会	専 務	県内各地
24日	2次審査		
17日	合同組合長会議	会長外	チクモクビル
23日	JAS格付け検査（マルジョウ）	職 員	うきは市
24日	九経連林業部会モクビル研究会	会長外	福岡市
1月 11日	福岡県産木材利用促進協議会ワークショップ	会長外	福岡市
13日	緑の雇用担当者会議	職 員	オンライン
24日	九州地区需給情報連絡協議会	専 務	オンライン
27日	福岡建設労働組合との意見交換	会長外	チクモクビル
28日	中央需給情報連絡協議会	専 務	オンライン
2月 6日	木造建築物技術発表会	会長外	福岡市、オンライン
7日	雇用改善推進会議	専 務	福岡市
15日	九経連林業部会	職 員	オンライン
16日	会計検査（過剰木材在庫利用緊急対策事業）	専 務	福岡市
22日	JAS監査（八女林産組合）	専 務	八女市
28日	木活協成果報告会	職 員	オンライン
3月 2日	JAS格付検査（マルジョウ）	職 員	うきは市

財 産 目 録

令和4年3月31日 現在

(単位：円)

科目	場所等	使用目的等	金額
(資産の部)			
現金	手元保管	運転資金として	70,957
預金	普通預金 福岡銀行博多支店	運転資金として	6,585,747
立替金		JAS監査手数料	1,105,192
仮払税金		R3年所得税	14,976
資産合計			7,776,872
(負債の部)			
未払金		備品費 未払い法人税	45,249 283,800
負債合計			329,049
正味財産			7,447,823

貸 借 対 照 表

令和4年3月31日 現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	70,957	109,051	△ 38,094
普通預金	6,585,747	5,429,126	1,156,621
未収金	0	1,121,120	△ 1,121,120
立替金	1,105,192	0	
仮払税金	14,976	0	14,976
流動資産合計	7,776,872	6,659,297	1,117,575
2. 固定資産			
(1) その他固定資産			
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	0	0	0
資産合計	7,776,872	6,659,297	1,117,575
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	45,249	225,118	△ 179,869
未払い法人税	283,800	502,800	△ 219,000
預り金	0	0	0
流動負債合計	329,049	727,918	△ 398,869
2. 固定負債			
長期借入金	0	0	0
固定負債合計	0	0	0
負債合計	329,049	727,918	△ 398,869
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産			
一般正味財産	7,447,823	5,931,379	1,516,444
正味財産合計	7,447,823	5,931,379	1,516,444
負債及び正味財産合計	-9- 7,776,872	6,659,297	1,117,575

収 支 決 算 書 総 括 表

令和3年4月1日 から
令和4年3月31日 まで

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差引増△減額
I 収入の部			
(1) 会費収入	4,753,000	4,752,300	△ 700
(2) 補助金等収入	11,906,000	8,572,949	△ 3,333,051
(3) 事業収入	12,085,000	10,825,883	△ 1,259,117
(3) 雑収入	50,000	44,619	△ 5,381
当期収入合計 (A)	28,794,000	24,195,751	△ 4,598,249
II 支出の部			
(1) 事業支出	10,799,000	6,477,464	△ 4,321,536
(2) 管理費等支出	17,693,000	15,666,943	△ 2,026,057
III 法人税等支出	252,000	534,900	282,900
IV 予備費支出	50,000	0	△ 50,000
当期支出合計 (B)	28,794,000	22,679,307	△ 6,114,693
当期収支差額 (A－B)	0	1,516,444	1,516,444
前期繰越収支差額 (C)	5,931,379	5,931,379	0
次期繰越収支差額 (A－B＋C)	5,931,379	7,447,823	1,516,444

* 令和3年度収支差額処理案

1. 当期収支差額	1,516,444 円
2. 前期繰越収支差額	5,931,379 円
(合 計)	7,447,823 円
3. 次期繰越収支差額	7,447,823 円

正味財産増減計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 会費収入	4,752,300	4,787,900	△ 35,600
② 補助金収入	(8,572,949)	(13,482,783)	△ 4,909,834
木材産業振興対策費	1,550,000	1,550,000	0
JAS利用拡大普及啓発事業	7,022,949	2,103,497	4,919,452
過剰木材在庫利用緊急対策事業	0	9,829,286	△ 9,829,286
外構部木質化対策支援事業	0	0	0
農林水産まつり運営費	0	0	0
森林づくり活動公募事業補助金	0	0	0
③ 事業収入	(10,825,883)	(6,378,511)	4,447,372
木材登録会費	1,066,400	1,058,400	8,000
県産材認定手数料	4,000	12,000	△ 8,000
県産材年間維持費収入	770,000	770,000	0
合法木材認定手数料	39,000	28,000	11,000
合法木材年間維持費収入	2,190,000	2,130,000	60,000
JAS監査・検査事業収入	1,067,363	2,120,111	△ 1,052,748
JAS個別実証支援事業収入	300,000	260,000	40,000
福岡県コロナ対応			0
木質リノベーション推進事業	5,389,120	0	5,389,120
④ 雑収入	44,619	171,947	△ 127,328
経常収益計	24,195,751	24,821,141	△ 625,390
(2) 経常費用			
① 事業費	(6,477,464)	(9,318,872)	△ 45,725
JAS構造物材利用拡大事業	6,337,549	1,494,080	4,843,469
過剰木材在庫利用事業	0	7,730,602	△ 7,730,602
教育情報事業費	71,750	71,750	0
木材利用相談事業費	0	22,440	△ 22,440
合法木材事業費	68,165	0	68,165
農林水産まつり運営費	0	0	0
ウッドフェスタ運営費	0	0	0
② 管理費	(15,666,943)	(13,575,520)	2,091,423
役員報酬	3,183,000	3,000,000	183,000
職員給与	4,930,567	3,508,200	1,422,367
福利厚生費	1,253,658	1,253,993	△ 335
通勤手当	672,480	573,030	99,450
事務所費	2,076,665	1,791,508	285,157
需用費	1,302,630	1,553,822	△ 251,192
旅費交通費	448,332	227,512	220,820
交際費	98,200	14,848	83,352
広告宣伝費	94,600	22,000	72,600
会議費	195,060	106,234	88,826
租税公課	10,480	10,480	0
関係団体負担金	1,186,946	1,311,000	△ 124,054
雑費	214,325	202,893	11,432
経常費用計	22,144,407	22,894,392	△ 749,985
当期経常増減額	2,051,344	1,926,749	124,595
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
法人税等支出	534,900	648,900	△ 114,000
経常外費用計	534,900	648,900	△ 114,000
当期経常外増減額	△ 534,900	△ 648,900	114,000
当期一般正味財産増減額	1,516,444	1,277,849	238,595
一般正味財産期首残高	5,931,379	4,653,530	1,277,849
一般正味財産期末残高	7,447,823	5,931,379	1,516,444
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	7,447,823	5,931,379	1,516,444

一般社団法人福岡県木材組合連合会
令和3年度収支決算内訳表

令和4年3月31日

科目	実施事業等会計 (木材産業振興対策費)	その他会計		法人会計	内部取引 控除額	合計
		継1	他1			
1. 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
・会費収入	0	0		4,752,300		4,752,300
正会員会費	0	0		4,752,300	0	4,752,300
特別会員会費	0	0		0	0	0
・補助金収入	1,550,000	7,022,949		0	0	8,572,949
木材産業振興対策事業費	1,550,000	0		0	0	1,550,000
JAS構造成材利用拡大事業費(普及啓発)	0	7,022,949		0	0	7,022,949
過剰木材在庫利用緊急対策事業(普及啓発)	0	0		0	0	0
外構部木質化事業(普及啓発)	0	0		0	0	0
農林水産まつり運営費	0	0		0	0	0
森づくり活動公募事業補助金	0	0		0	0	0
・事業受取収入	0	10,825,883		0	0	10,825,883
登録収入(木材登録)		1,066,400		0	0	1,066,400
県産材認定手数料	0	4,000		0	0	4,000
県産木材年間維持費収入	0	770,000		0	0	770,000
合法木材認定手数料	0	39,000		0	0	39,000
合法木材年間維持費収入	0	2,190,000		0	0	2,190,000
JAS監査・検査事業収入		1,067,363		0	0	1,067,363
JAS実証支援事業費	0	300,000		0	0	300,000
外構部木質化実証支援事業	0	0		0	0	0
福岡県コロナ対応木質リノベーション推進事業	0	5,389,120		0	0	5,389,120
・雑収入	0	44,619		0	0	44,619
経常収益計	1,550,000	17,893,451		4,752,300	0	24,195,751

科目	実施事業等会計 (木材産業振興対策費)	その他会計		法人会計	内部取引 控除額	合計
		継1	他1			
(2)経常費用						
[事業費]						
JAS構造材利用拡大事業	71,750	6,405,714		0	0	6,477,464
過剰木材在庫利用緊急対策事業	0	6,337,549		0	0	6,337,549
教育情報事業費	0	0		0	0	0
木材利用相談事業費	71,750	0		0	0	71,750
合法木材事業費	0	0		0	0	0
農林水産まつり運営費	0	68,165		0	0	68,165
ウッドフェスタ運営費	0	0		0	0	0
	0	0		0	0	0

科目	実施事業等会計 (木材産業振興対策費)	その他会計		法人会計	内部取引 控除額	合計
		継1	他1			
[管理費]	3,128,250	6,321,200		6,217,493		15,666,943
役員報酬費	1,081,000	1,105,600		996,400	0	3,183,000
職員給与費	940,000	2,428,300		1,562,267	0	4,930,567
福利厚生費	338,400	660,000		255,258	0	1,253,658
通勤手当	150,400	282,100		239,980	0	672,480
退職金手当	0	0		0	0	0
事務所費	478,650	605,000		751,876	0	1,835,526
需用費	0	662,200		530,885	0	1,193,085
旅費交通費	58,200	307,100		83,032	0	448,332
交際費	0	0		98,200	0	98,200
広告宣伝費	0	94,600		0	0	94,600
会議費	0	49,500		145,560	0	195,060
負担金	0	0		1,186,946	0	1,186,946
謝金等	0	0		0	0	0
通信運搬費	81,600	126,800		142,284	0	350,684
補助金	0	0		0	0	0
租税公課	0	0		10,480	0	10,480
予備費	0	0		0	0	0
雑費	0	0		214,325	0	214,325
経常費計	3,200,000	12,726,914		6,217,493	0	22,144,407
当期経常増減額	△ 1,650,000	5,166,537		△ 1,465,193	0	2,051,344
評価損益当期増減額						
評価損益等小計						
(1)経常外収入						
経常外収益計	0	0		0	0	0
(2)経常外費用						
法人税等支出	0	0		534,900	0	534,900
経常外費用計	0	0		534,900	0	534,900
当期経常外増減額	0	0		△ 534,900	0	△ 534,900
その他会計振替額	0	0		0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,650,000	5,166,537		△ 2,000,093	0	1,516,444

上記のとおり報告します。

令和4年4月26日

(一社)福岡県木材組合連合会

会 長 平川 辰男



上記につき監査したところ正確であることを認めます。

令和4年4月26日

監 事 鈴木 就生



監 事 多田 啓



第 2 号議案

令和 4 年度 事業計画（案）

自 令和 4 年 4 月 1 日

至 令和 5 年 3 月 3 1 日

令和 4 年度においても、引き続き新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、我が国の社会、経済への影響について見通しが困難な状況にあります。

一方で、国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」における SDG s（持続可能な開発目標）が社会、経済の大きな共通目標になり、政府の「2050 年二酸化炭素実質排出量ゼロ」の達成には、再生産可能で製造過程での二酸化炭素排出がきわめて少ない木材について大きな関心が寄せられてきました。

また、令和 3 年 6 月に閣議決定された「森林・林業基本計画」において、基本的な方針を「森林・林業・木材産業によるグリーン成長」として、森林を適正に管理して林業・木材産業の持続性を高めながら、成長発展させることで、2050 カーボンニュートラルも見据えた豊かな社会経済を実現していくこととされました。木材産業関連では、木材生産流通の効率化、国際競争力や地場競争力の強化、都市等における木材利用の拡大等の施策が位置づけられています。

さらには、昨年 10 月には、「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律（改正木材利用促進法）」が施行され、この法律において、川上、川下の関係者が協定を結び、木材の安定供給・安定需要の確保に努めることとされました。

以上の施策の中で、「伐って、使って、植えて、育てる」という森林の循環利用へ向けた具体的な取組の前進が期待されるところであり、追い風が吹いている国産材の利用拡大、非住宅建築物等の木造・木質化などの動きを減速させないための活動が重要となります。

これからは、少子化等により新設住宅着工の伸びが期待しがたいと見込まれますが、建築基準法改正などの流れを受け、民間の公共的な施設を含め木造化・内外装の木質化への志向は高まっており、新たな木製耐火資材など工法・部材の開発なども進められていることから、リフォームでの木材利用拡大、公共建築物、商工業施設、外構等多様な分野で木材利用を進めていくことが必要です。

去年は、米国の住宅需要急増による輸入製材品の供給不足と価格の高騰が生じたいわゆる「ウッドショック」が起りましたが、しばらくはこうした状況が続くといわれています。国産材へのシフトを目指していくには、引き続き今後も川上から川下までの関係者が現状把握と情報共有を行うとともに、業界一体となった対応が求められます。

新型コロナウイルス感染拡大が業界に及ぼす影響も引き続き注視が必要な状況であり、また、ウッドショックやウクライナ情勢により木材を取り巻く環境に大きな動きが見られる中ではありますが、多様な分野での木材の需要拡大の取り組みや安定供給体制の構築に一層取り組んでいくことが今年度も重要な課題になってくると考えられます。

当連合会といたしましても、これまで以上に効率的な事業の実施に心掛け、会員の皆様との連携を強化し、国や県の諸施策や補助事業等の効果的な活用に努めながら、次の事項に重点的に取り組むこととします。

- (1) 消費者等に対する木材利用の普及推進
- (2) 「木づかい運動」への参画
- (3) 木材の安定供給と利用促進
- (4) J A S 構造材実証支援事業及び外構部の木質化の支援事業の実施
- (5) 福岡県コロナ対応型木質リノベーション推進事業の実施
- (6) J A S 制度の普及推進及び適正な運用
- (7) 合法木材及び発電利用に供する木質バイオマスの普及推進
- (8) 労働安全衛生対策の推進
- (9) 教育・情報提供事業
- (10) 提案及び要望活動等

令和4年度収支予算書(案)

令和4年4月 1日から
令和5年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	備 考
I 収入の部			
(1) 会費収入	4,853,000	4,753,000	
受取会費	4,853,000	4,753,000	正会員、賛助会員
(2) 補助金収入	9,506,000	11,406,000	
木材産業振興対策費	1,550,000	1,550,000	連合会運営
JAS構造材利用拡大事業	7,000,000	9,000,000	普及啓発
外構部木質化対策支援事業	100,000	0	普及啓発
農林水産まつり運営費	356,000	356,000	
森づくり活動公募事業補助金	500,000	500,000	
(3) 事業収入	11,795,000	12,585,000	
木材登録会費	1,070,000	1,070,000	
県産材認定手数料	8,000	8,000	
県産材年間維持費収入	770,000	770,000	
合法木材認定手数料	35,000	7,000	
合法木材年間維持費収入	2,160,000	2,160,000	
JAS構造材実証支援事業	220,000	220,000	
外構部木質化対策支援事業	20,000	500,000	
コロナ対応型木質リノベーション推進事業	6,812,000	7,150,000	
JAS監査等事業費	700,000	700,000	
(4) 雑収入	50,000	50,000	利子等
当期収入合計(A)	26,204,000	28,794,000	
II 支出の部			
(1) 事業費支出(B)	8,162,000	10,799,000	
JAS構造材実証支援事業	0	0	
JAS構造材利用拡大事業	6,500,000	8,758,000	普及啓発
外構部木質化対策支援事業	90,000	450,000	普及啓発
教育情報事業費	72,000	91,000	
合法木材事業費	200,000	200,000	
農林水産祭運営費	500,000	500,000	
ウッドフェスタ運営費	800,000	800,000	
(2) 管理費等支出(C)	17,724,000	17,693,000	
役員報酬	3,600,000	3,000,000	
職員給与	5,600,000	6,000,000	
福利厚生費	1,618,000	1,734,000	
通勤手当	673,000	673,000	
事務所費	2,220,000	1,852,000	
需用費	1,300,000	1,200,000	
旅費交通費	600,000	1,000,000	
交際費	80,000	50,000	
広告宣伝費	100,000	312,000	
会議費	380,000	330,000	
租税公課	11,000	0	
関係団体負担金	1,302,000	1,302,000	
雑費	240,000	240,000	
III 法人税等引当金(D)	268,000	252,000	
IV 予備費(E)	50,000	50,000	
当期支出合計(B+C+D+E) = (F)	26,204,000	28,794,000	
当期収支差額(A-F)	0	0	

一般社団法人福岡県木材組合連合会
令和4年度収支予算内訳表

令和4年4月1日

科目	実施事業等会計 (木材産業振興対策費)	その他会計		法人会計	内部取引 控除額	合計
		継1	他1			
1. 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
・会費収入	0	0		4,853,000		4,853,000
正会員会費	0	0		4,853,000	0	4,853,000
特別会員会費	0	0		0	0	0
・補助金収入	1,550,000	7,956,000		0	0	9,506,000
木材産業振興対策事業費	1,550,000	0		0	0	1,550,000
JAS構造成材利用拡大事業費(普及啓発)	0	7,000,000		0	0	7,000,000
過剰木材在庫利用緊急対策事業(普及啓発)	0	0		0	0	0
外構部木質化事業(普及啓発)	0	100,000		0	0	100,000
農林水産まつり運営費	0	356,000		0	0	356,000
森づくり活動公募事業補助金	0	500,000		0	0	500,000
・事業受取収入	0	11,795,000		0	0	11,795,000
登録収入(木材登録)	0	1,070,000		0	0	1,070,000
県産材認定手数料	0	8,000		0	0	8,000
県産木材年間維持費収入	0	770,000		0	0	770,000
合法木材認定手数料	0	35,000		0	0	35,000
合法木材年間維持費収入	0	2,160,000		0	0	2,160,000
JAS実証支援事業費	0	6,812,000		0	0	6,812,000
外構部木質化実証支援事業	0	220,000		0	0	220,000
福岡県コロナ対応木質リノベーション推進事業	0	20,000		0	0	20,000
JAS監査・検査事業収入	0	700,000		0	0	700,000
・雑収入	0	50,000		0	0	50,000
経常収益計	1,550,000	19,801,000		4,853,000	0	26,204,000

科目	実施事業等会計 (木材産業振興対策費)	その他会計		法人会計	内部取引 控除額	合計
		他1				
(2)経常費用	継1					
[事業費]	72,000	8,090,000		0	0	8,162,000
JAS構造材実証支援事業		0				
JAS構造材利用拡大事業	0	6,500,000		0	0	6,500,000
外構部木質化対策支援事業		90,000		0	0	90,000
教育情報事業費	72,000	0		0	0	72,000
合法木材事業費	0	200,000		0	0	200,000
農林水産まつり運営費	0	500,000		0	0	500,000
ウッドフェスタ運営費	0	800,000		0	0	800,000

科目	実施事業等会計 (木材産業振興対策費)	その他会計		法人会計	内部取引 控除額	合計
		継1	他1			
[管理費]						
役員報酬費	3,028,000		7,141,100	7,554,900		17,724,000
職員給与費	900,000		1,286,000	1,414,000	0	3,600,000
福利厚生費	940,000		2,812,600	1,847,400	0	5,600,000
通勤手当	298,000		918,200	401,800	0	1,618,000
退職金手当	170,500		405,000	97,500	0	673,000
事務所費	0		0	0	0	0
需用費	330,000		477,600	1,172,400	0	1,980,000
旅費交通費	30,000		601,800	558,200	0	1,190,000
交際費	268,500		249,000	82,500	0	600,000
広告宣伝費	0		0	80,000	0	80,000
会議費	0		96,200	3,800	0	100,000
関係団体負担金	0		172,700	207,300	0	380,000
謝金等	0		0	1,302,000	0	1,302,000
通信運搬費	91,000		122,000	137,000	0	350,000
補助金	0		0	0	0	0
租税公課	0		0	11,000	0	11,000
予備費	0		0	0	0	0
雑費	0		0	240,000	0	240,000
経常費用計	3,100,000		15,231,100	7,554,900	0	25,886,000
当期経常増減額	△ 1,550,000		4,569,900	△ 2,701,900	0	318,000
評価損益当期増減額						
評価損益等小計						
(1) 経常外収入						
経常外収益計	0		0	0	0	0
(2) 経常外費用						
法人税等引当金	0		0	268,000	0	268,000
予備費	0		0	50,000		50,000
経常外費用計	0		0	318,000	0	318,000
当期経常外増減額	0		0	△ 318,000	0	△ 318,000
その他会計振替額	0		0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,550,000		4,569,900	△ 3,019,900	0	0

第 3 号議案 令和 4 年度会費の賦課ならびに徴収方法の決定について

令和 4 年度の会費の賦課ならびに徴収方法は次のとおりとする。

(1) 組合別会費

組 合 名	会 費		備 考
	員 数	金 額 (円)	
北九州	35	525,000	
筑豊地区	46	690,000	
福岡市	46	690,000	
朝倉東	5	75,000	
朝倉	9	135,000	
浮羽	18(1)	274,700	
八女	35(2)	534,400	
大川	49	735,000	
大牟田	7(4)	123,800	
豊前築上	3	45,000	
築上西部	2	30,000	
宗像	6(1)	94,700	
柳川	8	120,000	
久留米	16	240,000	
粕屋	13	195,000	
那珂川	2	30,000	
筑紫	1	15,000	
星野	8	120,000	
県市連	10	150,000	
木青壮	2	30,000	
合計	321(8)	4,852,600	

() は準組合員

(2) 会費の徴収方法

会費の納期は、前期 6 月 3 0 日、後期 1 0 月 3 1 日迄の 2 回とする。

※ 正組合員 1 人当たり 1 5 , 0 0 0 円

準組合員 1 人当たり 4 , 7 0 0 円

第 4 号議案 役員報酬について

常勤役員の報酬額は 3, 6 0 0 千円以内とする。

第 5 号議案 役員補選について